



第4回 松ヶ崎のおどり 7月20日(土) 午後2時~4時

主催：松ヶ崎小学校学校運営協議会，PTA，おやじの会，(財)松ヶ崎立正会（題目踊り・さし踊り保存会）
共催：学校コミュニティプラザ事業「下鴨中ゾーン」
場所：松ヶ崎小学校 講堂

京都市登録無形民俗文化財である「さし踊り」の講習会を行いました。この日の午前中は、少年補導松ヶ崎支部・松ヶ崎小学校 PTA 主催の「飯盒炊さん」。この飯盒炊さんに参加していた児童もいっしょに、皆で踊りました。

～プログラム～

第1部・・・子ども達による松ヶ崎歴史オリジナル劇

平成24年度，4年生が総合的な学習の時間に「松ヶ崎の文化」について学習し，その学びをオリジナル劇「大好き松ヶ崎 松レンジャー危機一髪」にして，学習発表会で披露しました。
その劇を，講堂の大画面でビデオ鑑賞しました。

第2部・・・「さし踊り」講習会

(財)松ヶ崎立正会「さし踊り保存会」の皆様にご指導していただき，「さし踊り」を練習しました。保存会の皆様には，毎年，丁寧に指導していただいています。
練習した後は，大きな輪になり，皆で踊りました。

ひとくちメモ・・・

松ヶ崎に古くから伝わる「題目踊り」と「さし踊り」。これらは，京都市登録無形民俗文化財に登録されています。そして，松ヶ崎のお盆の行事として，8月15日と16日（五山の送り火の後）涌泉寺境内で踊られます。

「題目踊り」は，徳治元年（1306年・・・鎌倉時代の終わり頃）松ヶ崎全村が法華宗に改宗したとき，僧侶実眼の打つ鳴らす太鼓の音に合わせて『南無妙法蓮華経』と里人が跳ね踊ったのが始まりで，日本で最初にできた盆踊りだと言われています。

「さし踊り」は，江戸後期に洛北一帯で流行した盆踊りの一つと伝えられています。

7月22日(月) 午後7時~8時
松ヶ崎小学校ランチルーム

この日も引き続き「さし踊り」の練習会です。夜遅いので，子ども達は，大人の方と一緒に参加。20日に覚えられなかったところも，スムーズにできるようになったようです。

8月15日(木)午後8時～

8月16日(金)午後9時すぎ～

涌泉寺境内で



題目踊り・・・

松ヶ崎の人たちだけで踊ることになっているようです。

太鼓をはさんで、東に男性、西に女性ならび、ゆっくりとした独特の節回しを唱えられます。

その周囲を人々が、扇子や団扇をひざにあてながら回っていきます。

さし踊り・・・

だれもが参加できます。

中央にやぐらが組まれ、そのやぐらには、男性の方が集まり歌（音頭）を。

学校の講堂で練習した子ども達も一緒に入って踊りました。



観光客も一緒になって・・・

16日(金)、「妙法」の送り火がともされた後、観光客も一緒に入ってさし踊りが踊られました。

外国の方もいらして、踊りを覚えようと一生懸命でした。

松ヶ崎の伝統の踊りを、誇りに思い、私達が引き継いでいかなければならないと感じました。